

主に向かう道

日本聖公会中部教区宣教150周年ニュースレター



「中部教区
宣教150周年」
への道

1875~2025

テーマ：裸足の宣教1875~2025、そして未来へ
— 主に向かう道 ふたたび —

テーマ聖句：「わたしたちの足を、平和の道に導いてください」
(ルカ1:79より)

2025年に中部教区は1875年に初めて宣教師たちが足を踏み入れて以来150周年を迎えます。テーマ「裸足の宣教 1875~2025、そして未来へ — 主に向かう道 ふたたび —」には、先人たちが一步一步重ねてきた歩みへの感謝と未来への希望が込められています。

裸足の宣教：愛と奉仕の証し
カナダから派遣された宣教師たちは、持てるものすべてを献げ、裸足のような姿勢で、キリストの愛と福音を中部の地に届けました。彼らの愛と献身は、人々の心に福音の種を蒔き、それが実を結んで現在の教会や福祉施設として成長しています。



Because of the tender mercy of our God, the dawn from on high will break upon us, to shine upon those who sit in darkness and in the shadow of death, to guide our feet into the way of peace.

150年を振り返り、再び歩み出す

この150年には戦争、差別、貧富の格差、そして数多くの困難がありました。しかし、それらの試練の中でも、教区の人々は神への信頼と隣人への愛を絶やさず、祈りと奉仕の道を歩んできました。2025年は、これまでいただいた神の恵みを振り返り、新たな「裸足の宣教」を始めるための年です。

未来への祈りと歩み

テーマ聖句「わたしたちの足を、平和の道に導いてください」(ルカ1:79より)に込められた通り、神の平和に導かれつつ、私たちは再び裸足で歩み出します。それは、自らを守るものを脱ぎ、傷つく覚悟をもって平和と奉仕に徹する道であり、その先に神の祝福があると信じます。新たな歩みの一步を、神とともに踏み出していきましょう。

150周年の節目を迎える来年は、これまでの恵みに感謝し、さまざまなイベントを年間を通じて計画しています。主なものをご案内いたします。

150周年
記念
イベント



記念礼拝

開催日程： 2025年10月12日(日) 夕の礼拝
2025年10月13日(月・祝) 記念聖餐式
会場： 名古屋聖マタイ教会



シンポジウム「カナダ聖公会から中部教区への贈り物」

事前録画： 7月~9月に愛岐・長野・新潟各伝道区にて視聴。その後公開(アーカイブ視聴あり)

テーマ： アングリカニズムと社会に向けられたまなざし

発題登壇者： 西原廉太中部教区主教、リンダ・ニコルズ前首座主教(カナダ聖公会)

司会： 市原信太郎司祭

企画趣旨： 私たちの教区がカナダ聖公会から受け継いできた「アングリカニズム(聖公会主義)」の特徴のひとつである「社会に向けられたまなざし」について再認識する機会にしたいと思います。カナダミッションの宣教師たちは、社会への関心をもって教会や施設を設立し、福音と共にそのまなざしを私たちに伝えてくれました。このシンポジウムでは、彼らの日本での活動を振り返り、また現代における社会との関わり方についても触れてまいります。中部教区が受け継いだその「まなざし」を今後どのように活かしていくか、参加者と共に考えてまいります。

ZOOM シリーズ「裸足の宣教1875~2025、そして未来へ」

開催日程： 隔月第4土曜日、13:00~15:00 (アーカイブ視聴あり)

テーマ： 先人たちの声と「呼びかけ」を聴き、わたしたちのこれからについて話そう

企画趣旨： 150周年のテーマ「裸足の宣教」に基づき、カナダミッションの宣教師たちの足跡をたどり、私たちの現在と未来の宣教活動への「呼びかけ」に応答するシリーズを開催します。各回で先人の歩みを振り返り、地域や世界の声に耳を傾け、皆で分かち合いと対話を深めます。

第1回：1月25日



A.C. ショー司祭
「神のみ声に耳を傾けよう」
語り手：江夏一彰司祭

第2回：3月22日



J.G. ウォーラー司祭
「人々の声に耳を傾けよう」
語り手：大和玲子司祭

第3回：5月24日



M. ヤング宣教師
「世界の声に耳を傾けよう」
語り手：後藤香織司祭

記念すべき宣教150周年を迎えるにあたり、中部教区全体で共に歩み続ける一年にいたしましょう。